

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西脇多可新ごみ処理施設	階数	地上4階
建設地	兵庫県多可町中区奥中宇奥北野98	構造	S造
用途地域	区域区分非設定	平均居住人員	50 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2024年7月1日
敷地面積	44,591 m ²	作成者	西本陽香
建築面積	4,345 m ²	確認日	2024年7月1日
延床面積	8,228 m ²	確認者	岸昌幸

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE =1.0
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.1

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 室内環境の快適性や省エネルギー、リサイクル性能といった環境配慮を行い総合的な環境性能を評価できるように計画している。		その他
Q1 室内環境 シックハウス対策として使用する建材はF☆☆☆☆とし、化学汚染物質による空気室汚染対策に配慮している。また居室には適宜開口部を設けることで、空気室環境の向上に配慮している。	Q2 サービス性能 事務室をはじめ他主要な居室はゆとりのある天井高さの確保、また休憩室といったリフレッシュスペースを確保することで快適性の向上に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 計画建物をできる限り道路から離隔する配置とし、圧迫感を軽減している。また空地部分の緑を残すことで周辺環境に対して良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー LED照明を採用することで、エネルギーの高効率化に配慮している。また、外壁等には断熱性能の高い材料を採用することで外皮性能の熱負荷抑制に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水型の器具を使用することで水資源に対して配慮している。また、再生砕石やOAフロアなどのリサイクル材を採用することで資源保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 屋外広告照明を行わないことや十分な駐車場を確保することで周辺道路の渋滞を抑制していることなど外部にも配慮した計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される